

石に絵を描くストーンペインティング：児童向けの地質のアウトリーチ

Introduction of stone painting as an outreach tool of geology for children

*植木 岳雪¹

*Takeyuki Ueki¹

1. 千葉科学大学危機管理学部

1. Faculty of Risk and Crisis Management, Chiba Institute of Science

ストーンペインティングは、石に絵の具で絵を描くものである。一般に、クラフトアートとして行われているが、自然石（礫）を使った場合には、地学教育や地質のアウトリーチとして活用できる。2015年度には、東京都青梅市における夏休みの親子向け講座と茨城県つくば市の小学校の科学フェスティバルで、ストーンペインティングを行った。ストーンペインティングは小学校低学年もでき、大人も楽しめる。時間は、30分から1時間あれば十分である。アクリル絵の具など、ほとんどものは100円ショップで購入でき、安価である。アンケート調査によれば、参加者のほとんどは肯定的な評価を示した。児童を対象とした地質のアウトリーチとして、ストーンペインティングは簡便で有効である。

キーワード：地質学、アウトリーチ、児童

Keywords: Geology, Outreach, Children